



稲敷市



Salmon Arm
サーモンアーム市 (カナダ)

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No.22
2016.11



平成 29 年度青少年親善大使海外派遣団員の募集について

～貴重な海外体験のチャンスです！～

8 月に、カナダ・サーモンアーム市へ、稲敷市在住の中学生・高校生を派遣します。1 週間のホームステイを通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。募集は平成 29 年 4 月頃を予定しています。詳しくは稲敷市役所市民協働課へお問い合わせください。

いな しき
稲敷 いなのすけ



©姉妹都市交流事業（海外派遣・受入）の詳細は稲敷市ホームページ

<http://www.city.inashiki.lg.jp/index.html>（目的別→市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業）

©稲敷市姉妹都市交流委員会 会員募集！ お問い合わせは市民協働課内事務局へ：029-892-2000（代）

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●

「挑戦」を楽しむ

稲敷市姉妹都市交流委員会

副会長 清水 美香

大人になるにつれ、何か新たな事に挑戦することはとても億劫になってくるものですが、今年の姉妹都市交流委員会は「挑戦」の年となりました。

まず、3月にサーモンアーム市訪問団との一泊研修の行き先をこれまでの「浅草・ディズニーランド」から「東照宮・日光江戸村」へ変更しました。カナダの子供たちはもちろん、実は日本のホストファミリーも初めてという子供たちが多く、日本の歴史と一緒に楽しく体験でき、たいへん好評でした。思い切って変更してみて良かったと安堵しました。

また、毎年開催されてきたサーモンアーム市との交流を隔年で行う事となったため、今年の8月は海外派遣がありませんでした。そこで、新たな「挑戦」として過去に姉妹都市交流にご参加いただいた方々と「Reunion（同窓会）」を行いました。カナダへ訪問団員として参加後、どのような進路選択をし、現在どのような仕事をしているか等を発表していただきました。発表者とそれを食い入るように真剣に聞いている子供たち、両者ともキラキラと輝いていて、私の目にととても眩しく映りました。

子供たちは常に何か新しいことを求めて「挑戦」し、戸惑いながらも楽しく過ごすことができます。私たちが子供の頃を思い出しながら、このような、キラキラした「いなしキッズ」たちと共に、常に「挑戦」を楽しみながらこれからの委員会活動に従事して参りたいと思います。



訪問団随行者
ステイシー・モリソン
さんと共に

ずっとつながっていこう

—第9回サーモンアーム親善訪問団受入事業に参加して—

受入期間：平成28年3月24日（木）～3月31日（木）

受入れホストファミリー名簿（※学年は受入れ当時）

野口 智史（大3）	坂井 泉（高1）	新里 悠真（中2）
新里 真加（中1）	黒田 涼（中2）	板橋 京（中2）
黒田 七海（中2）	石井 美歩（中1）	中村 友香（中2）
友田 輪（中1）	宮本 夢華（高1）	成毛 篤郎（中1）
宮本 愛弓（中1）	高村 洸大（高3）	坂本 和弥（中3）
渚 夏葉（中等教育学校3）		
石井 道朗（一般）	矢崎 克実（一般）	清水 美香（一般）

期間中の主なスケジュール

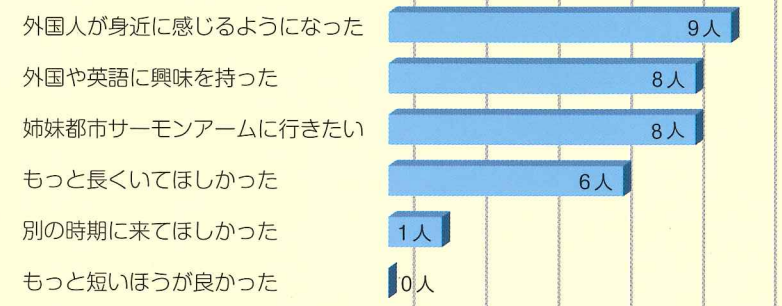
- ・対面式
- ・中学校交流会（東中学校）
- ・JAXA 筑波宇宙センター見学ツアー
- ・フリーデー（2日間）
- ・日光一泊研修（華厳の滝・日光東照宮・鬼怒川温泉・日光江戸村）
- ・さよならパーティー

ホストファミリーのアンケート結果（抜粋）

Q. ホームステイを受けた動機は？（複数回答可）



Q. 受けてみて、どうでしたか？（複数回答可）



カナダ 歓迎対面式 日本



カナダ 東中学校交流会 書道体験 日本



カナダ JAXA 筑波宇宙センター見学 日本



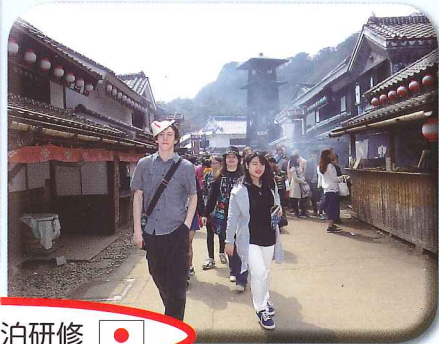
カナダ さよならパーティー 日本



カナダ 東中学校交流会 餅つき体験 日本



カナダ 日光一泊研修 日本



カナダ 涙のお別れ 日本

野口 智史

「ホームステイの受入れをしてみない？」家族のこの一言から私のメインホストとしての日々が始まった。私は英語が得意ではなく、自分の英語が通じるか不安であった。しかし、そのことをあまり意識せず、ジェスチャーを交えながら話していくうちに、打ち解けてどんどん会話が弾み仲良くなった。また、中学生以来の書道、剣道を体験して、日本の文化を改めて感じ、有意義な時間を過ごすことができた。このホームステイを通じて、英語でコミュニケーションをとる自信を持つことができ、日本の文化に触れられてとても貴重な経験が出来たと感じている。留学生のサムと過ごした日々は短い間ではあったが、私にとってはかけがえのない時間となり最高の思い出になった。

中村 友香

私はサーモンアームにホームステイしました。ホストファミリーは、私をたくさん助けてくれました。日本に帰るとき、今度は私が助ける番だと思ったのを覚えています。私の家に来てくれたのは、サーモンアームで私のステイ先のホストだった人でした。その人は、私がサーモンアームにホームステイしていた時よりも日本語が話せるようになっていました。その人は前よりも話せるのに、私はサーモンアームにいたときよりも積極的に話せませんでした。私が助けてあげられなかったことがぐやしいです。

坂本 和弥

僕は以前、派遣団として参加をしてから、次は受入れに是非とも参加しようと心待ちにしていました。受入れ期間中に、僕は中学で学習したあらゆる英語の表現をもとに会話をしようと思いました。その際、出来る限り、教科書等から学習した知識のみを駆使して会話をし、翻訳アプリにばかり頼らないことを心がけました。短い期間でしたが、少しでも多くの日本独自の文化を教えることはできたと思います。現在、僕は高校で英語部に所属しています。より多くの英語の表現方法を身に付けて、また次回の受入れ活動に前回よりも成長した形で参加をしたいと考えています。非常に貴重な経験を与えてくださったことを心から感謝します。

第7回姉妹都市交流委員会懇談会

5月22日、第9回サーモンアーム市親善訪問団受入れホストファミリーと交流委員会会員による懇談会を開催しました。ホストファミリーからは、「英語がうまく通じなかったが、おもにジェスチャーでコミュニケーションを取り、楽しく過ごせた。」「受入れた子が、日光で温泉を体験してからお風呂が好きになり、毎日お風呂に入るようになった。」「さよならパーティーで踊ったダンスを、家でも一緒に踊ったのが楽しかった。」などといった感想が聞かれました。



SISTER CITY EXCHANGE REUNION

(稲敷市歴代姉妹都市交流会)

を開催しました。

8月27日、昨年度の稲敷市市制施行10周年を記念し、“こもれび森のイバライド”において、交流会が開かれました。この会には、これまでの派遣団員並びに受入れホストファミリーの皆様が集まり、当時の思い出やお互いの近況など、情報交換をしました。



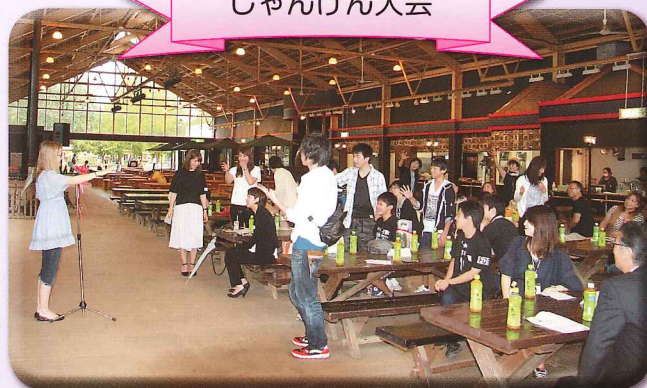
代表者2名による体験発表



レストランにて親睦会



じゃんけん大会



INFORMATION

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

親善大使海外派遣事業、親善訪問団受入事業など稲敷市の実施する姉妹都市（サーモンアーム市）との幅広い活動に協力し、交流活動を展開しています。



問い合わせ・申込みは
市民協働課内事務局：
029-892-2000 まで

○姉妹都市交流事業の詳細は
稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市 姉妹都市交流

検索

親善大使海外派遣事業及び親善訪問団受入の日程について

	派遣	受入
29年度	H29.8 派遣予定	H30.3 受入予定
30年度	なし	なし
31年度	H31.8 派遣予定	H32.3 受入予定
32年度	なし	なし

※派遣事業における個人負担について

親善大使海外派遣事業の派遣費用は、概ね30万円です。派遣費用の半分（上限額15万円）を稲敷市より補助しますので、実質約15万円程度の個人負担となります。

編集後記

姉妹都市交流が隔年実施となり、今回は受入れだけの報告となりました。回数ではなく、その内容をしっかりと見つめていきたいです。また、この事業そのものも、その内容が、より充実できるよう、サポートできたらと思います。一期一会、この機会に出会えるカナダの学生にとってもきっと大切な出会いになりますので、その出会いが、より思い出深くなったら、最高だと思います。

編集：稲敷市姉妹都市交流委員会広報委員・稲敷市役所市民協働課

交流委員会広報委員

山本 彰治（委員長）、塚本 みち子（委員）、倉田 九豪（委員）